

いきがい教室・講座開講



パソコン教室

パソコン教室「エクセルの基礎」

期間 一月十七日(水)

一月二十四日(水) 全六回

時間 午前十時～正午

午後七時～午後九時

会場 中央公民館本館

対象 一般

定員 各十九人

内容 エクセル2000の基礎講座です。

講師 高土敦子

受講料など 二千六百元程度

飲茶「ヤムチャ」で交流

期間 一月二十日(土)

時間 午前十時～正午

会場 中央公民館本館

対象 一般

定員 二十人

内容 水餃子などを作り、食べながら中国の人と交流します。

講師 チューミン

受講料 七百元程度

申込資格

町内在住・在勤・在学している方

申込期間

十二月十五日(金)

申込方法

電話(平日午前九時～午後五時) FAX、メール、公民館窓口で申し込みください。阿久比町ホームページ「暮らしの情報」からも申し込みできます。

開講にあたって

定員を超えた場合は初めての方を優先し、抽選により決定します。申し込みが十人未満の場合や講師の都合により変更などもありますのでご了承ください。

問い合わせ先

社会教育課公民館係
☎(48)1111(内260)
FAX(48)6229
メールアドレス
shakyo@town.agui.jip

子どもに伝えたい

あぐいのむかし

むかしの民具のはなし

火鉢ひばちがいつごろから使用されていたのかはつきりしません。

清少納言の枕草子に、火鉢の前身に当たる火桶ひおけに関する記述が見られることから、平安時代には使用されていたと考えられます。

炭を使用するため、薪たきぎを使ういろ炉いろ裏うらに比べ煙が出ないことから、武家や公家の間で使用されていたものが一般にも普及し、江戸時代から明治

時代にかけて発達しました。

装飾を施した金属製の火鉢や鮮やかな彩色をした陶器製の火鉢が作られました。

戦前までは駅の待合室などでよく見られましたが、ストーブに押されてその姿は消えていきました。

現在では装飾植木鉢、プランターカバーとして使用され、中に水を張り、金魚などを飼うこともあります。



手あぶり用の火鉢で、持ち運び用に取手が付いています。

手さげ火鉢



おき火を中に入れ、ふたをすることによって空気を断って消し、消炭を作るためのつばです。

火消つば

阿久比町民俗資料庫所蔵